

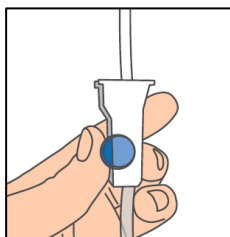
# カワスミ カリウム吸着フィルター 使用方法(詳細)①

KPF-4 大容量用(4単位以内用): 推奨処理流速 50mL/分以下、プライミングボリューム ≒42mL  
KPF-1 小容量用(1単位以内用): 推奨処理流速 30mL/分以下、プライミングボリューム ≒25mL

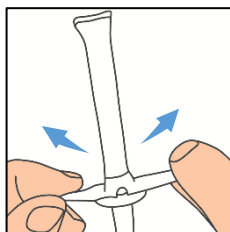
## 【使用準備】

(生理食塩液によるプライミング)

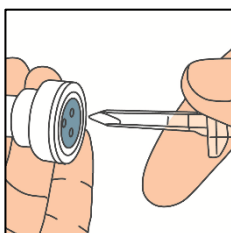
- ① ローラーランプを完全に閉じる。



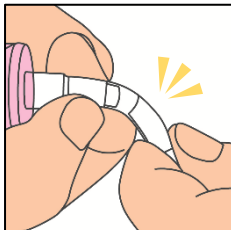
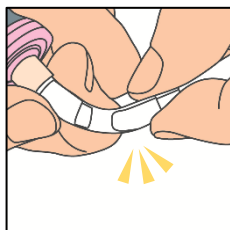
- ② 生理食塩液をガートル台に吊り下げ、本品のプラスチック針のキャップのタブを左右に引き、キャップの根元を引き裂いてキャップを外す。



- ③ 本品のプラスチック針を生理食塩液のポートに接続する

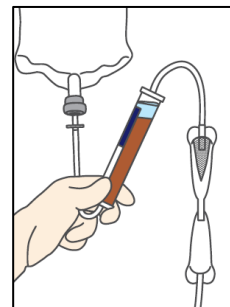


- ④ フィルター下の連通ピースを左右に折り、完全に開通する。



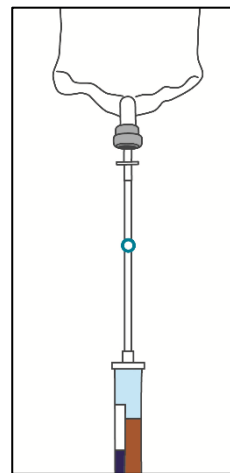
(フィルターの洗浄)

- ⑤ カラムを逆さにし、カラム内のエアを上に集める。  
⑥ ローラーランプを徐々に開き、カラム内のエアを追い出す。



- ⑦ ローラーランプを閉じ、カラムの向きを元に戻す。

- ⑧ カラム内の樹脂にエアをかみ込んでいないことを確認し生理食塩液を流す。一連の操作において、200mL以上の生理食塩液を必ず流す。

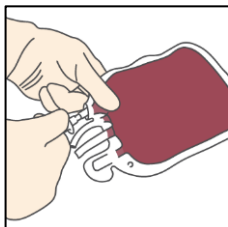


- ⑨ ローラーランプを閉じる。フィルター上部まで十分に生理食塩液が入っていることを確認する。

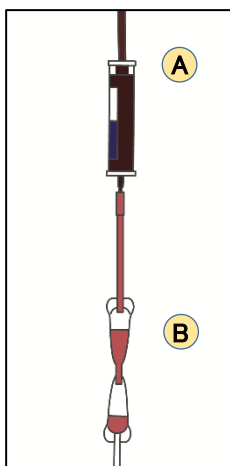
## カワスミ カリウム吸着フィルター 使用方法(詳細)②

### 【使用開始】

- ⑩ プライミング終了後、プラスチック針を生理食塩液のポートから抜き、血液製剤の輸血口を開いて穿刺する。

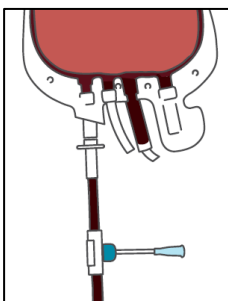


- ⑪ 輸血時は一般の輸血と同様の手技で輸血を開始する。※



### 【使用終了】

- ⑫ 血液バッグが空になり、血液が流れなくなったら輸血終了となる。回路内の残血を回収する際は、ゴムボタンに通気針を穿刺し、エアで血液を回収する。



**使用后、生理食塩液による回収は行わないこと**

### ※参考

セットから最初に流出する血液は生理食塩液で希釈されています。希釈の影響を避ける場合は、以下の容量を流すことで初期 Ht の 90%程度まで回復します。

KPF-1 : 60mL (生理食塩液を含む量)

KPF-4 : 65mL (生理食塩液を含む量)

上図の A と B の血液の色の濃さが同じ位となるのを目安としてください。

### 【処理血液量についての注意点】

製品仕様毎に規定された単位数以内で使用してください。

KPF-1 : 濃厚赤血球製剤 1 単位以内

KPF-4 : 濃厚赤血球製剤 4 単位以内

### 【血液処理速度についての注意点】

十分な吸着性能を得る為には製品仕様毎に規定された処理速度以内で使用してください。

KPF-1 : 30mL/min 以下

KPF-4 : 50mL/min 以下

### 【赤血球製剤の回収時の注意点】

- 血液バッグ内の血液が空になり、回路内に血液が残る場合があります。
- 血液回収を行う場合は、製品上部のゴムボタンに“通気針”を刺し、清浄な空気により赤血球製剤を回収してください。
- 決して生理食塩液等で洗浄・回収しないでください。吸着したカリウムイオンが急激に溶出するおそれがあります。

### 【輸血ポンプの使用について】

- 輸血可能なポンプをご使用の場合は、当製品にて処理した血液を分離バッグにプールした後、ポンプに適応した輸血セットにてご使用ください。